今日の学習のポイント（10月30日）

**サルバドール・ダリ（1904 - 1989）スペイン**

　シュルレアリスム　の代表的な作家。自分の制作方法を「偏執狂的批判的方法」と称し、写実的描法を用いながら、多重イメージなどを駆使して夢のような風景画を描いた。

**ジャクソン・ポロック（1912 - 1956）アメリカ**

抽象表現主義の代表的な画家。キャンバスを床に広げ、刷毛やコテで空中から塗料を滴らせる「ドリッピング」や、線を描く「ポーリング」という技法で作品を制作。描画行為そのものが芸術であるという意味でその制作スタイルは　アクション　・ペインティングと呼ばれた。

**アンディ・ウォーホル（1928 - 1987）アメリカ**

　ポップ ・アートの旗手。目覚ましい経済発展を遂げる当時のアメリカ社会を背景に、スターのイメージや商品、記号など大衆的で話題に富んだイメージをモチーフに、　シルクスクリーン 　プリントの作品を大量に生産した。アメリカの資本主義や大衆文化のもつ大量消費、非人間性、陳腐さ、空虚さなどを表現しているともされる。

**フランシス・ベーコン（1909 - 1992）イギリス**

ピカソと並び20世紀を代表するともされる画家。人体をモチーフに激しくデフォルメしながらもその肉体的存在を強調したり、閉鎖的な空間で叫ぶ姿を描いたりすることで、人間存在の根本的な不安を描き出している。サルトルらの　実存主義　哲学の影響を受けているともいわれる。

**シュルレアリスム**

「超現実主義」と訳される。フロイトの精神分析理論などの影響を受け、夢や無意識、狂気、偶然などに注目することにより、人間の精神を解放する具体的な方法を模索した。頭に浮かんだ言葉やイメージを修正せず直接書き取る　オートマティスム　(自動筆記)や、無関係な複数のイメージを隣り合わせることにより意外な組み合わせによる驚きを生み出す　デペイズマン　などはその代表的な手法。絵画表現の新たな展開を模索して生まれたコラージュ、フロッタージュ、デカルコマニーなどの技法は今日でも「モダンテクニック」として幅広く用いられる。

**抽象表現主義**

第二次世界大戦後～1950年代のアメリカで注目された美術の動向。主な特徴は、巨大なキャンバス、画面に中心もなければ地と図の区別もない　オールオーバー　な平面、キャンバスを作家の描画行為の場と考える、など。シュルレアリスム、表現主義、抽象絵画などヨーロッパの美術動向に加え、インディアンの砂絵などの影響も受けて展開した。

**ポップ・アート**

ポピュラー・アート（大衆芸術）に由来する言葉で、1950年代後半以降に　　　　　イギリス で発祥し、アメリカで発展した。マス・メディアや広告に関心を示し、アメリカの大衆文化の影響を受け、伝統や既成の権威への反発、ありふれたイメージの利用、キッチュ（低俗さ、悪趣味などに価値を見出すこと）なものに対する美意識などが特徴。